

そのおき

第81号

園沖公民館
発行：小山智之

引き続き

自治会活動に

ご協力を...

自治会長
宮島 忠

日頃から、自治会活動にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

この度、自治会長の大役を仰せつかりました第4プロックの宮島です。不慣れなことが多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、

さて、当園沖区は安茂里18地区の中で、世帯数が一番少ない区です。小さいことで大変な面もありますが、それにもまして、お互いに大部分の皆さんと顔見知りなれるとい

公民館活動の 原点回帰に、 新しさをプラス

公民館長
小山 智之

長い新型コロナウイルス禍を過ごし、また、個々での活動が日常となった今日において、公民館活動が持つ本来の「役割や理

念」が通りにくい実態があることは事実です。ただし、わが園沖には「園ネット」や「勢年団」などの地域における「相

う良い面があります。これは何かにつけて自治会活動がやりやすく、特に、当地区には「園ネット」や「勢年団」といった、自治会の活動を直接的に

互扶助の精神を持った組織（団体）が存在します。この存在はとても大きく、ほかの地区には類を見ないだけでなく、公民館活動を進めていく上で大変にありがたい存在となつていきます。

今年度は、「公民館活動を公民館役員自ら楽しんで、その楽しさを少しでも多くの人たちと共有しよう」というスローガンのもと、様々な行事を企画しています。10月には、バスで山梨方面に旅行に行くことを予定しています。11月には数年ぶりに「文化祭」も行います。従来から行っている12月の「しめ縄づくり講習会」や1月の「どんど焼き」などの行事にもひと味足して開催しようと考えています。

「原点回帰」と、新しい方策も取り入れながら行う今後の公民館の行事に、ぜひ、皆さまも参加してみませんか！

サポートしてくれる団体があり、大変心強く思っています。今後も情勢の変化に伴う課題もあり、皆さまのご意見をお聞きしながら取り組んでい

きたいと考えていますので、皆さまには、引き続きご指導並びにご協力をお願いいたします。

「自治会」からのお知らせ

政府広報などで皆さんもご承知のことと思いますが、環境保護などの理由で、一般照明用の蛍光灯は、本年（2025年）末から令和9年（2027年）末までに段階的に廃止され、すべての蛍光灯の製造も中止されます。これによりご自宅の蛍光灯もLED照明への切り替えが必要になります。

日頃、公会堂の使用にあたっては、節電と節約などに努めていただいているところではありますが、今後も公会堂の経費節減に、ご協力をお願いいたします。

自治会関係の行事予定

10月

◎国勢調査（5年に1回）
国勢調査員の業務にご協力をお願いします。

10月26日(日)

◎第19回アモーレフェスタ

◎長野市長選挙

11月9日(日)

◎第49回福祉バザー

物品の提供にご協力をお願いします。

令和8年1月3日(土)

◎安茂里地区成人祝賀会

安茂里地区スポーツの祭典

健闘しましたが、

上位入賞はならず

マレットゴルフクラブ会長 柳澤 愛子

5月25日(日)に、「安茂里地区スポーツの祭典」が行われ、前日の雨で、総合開会式と野球は延期になりましたが、屋内競技と「マレットゴルフ」は予定通り行いました。「園沖マレットゴルフクラブ」からは、4名(武原・野村・加藤・松本)が参加しました。

小山館長・吉田総主事も応援に駆けつけてくれましたが、残念ながら上位入賞とはなりません。また、公民館



マレットゴルフクラブは、毎月第1と第3火曜日の午前中に、犀川第一緑地帯で練習をしています。会費はその都度200円をいただいています。今回は、公民館役員の皆さまに大変お世話になりました。感謝です。

皆が楽しく住める
地域を目指して!園沖支え愛
ネットワーク会長 吉澤 憲一

「お帰り暑かったねー」「フー」。学校帰りの子どもたちに、散歩中のグループのひとりが声をかけます。帰宅時間に合わせて、子どもたちを見守ってくれています。

平成25年度、自治会の「困りごとアンケート」に基づき、翌年に、約20名の協力者により「園沖支え愛ネットワーク」が発足してから、今年で11年目となりました。

「出来る人が、できることを、できるときに」をモットーに、通院・買い物・ゴミ出し・雪かき・草刈り・植木の手入れ・花桃の里・街の緑側などの活動を通じ、孤独な人をなくしたいとの思いでやっています。

しかし、現在は高齢化率も36%を超えるようになり、支える側も心配でしたが「勢年団」の若い皆さんが協力してくれ、今後の活動に期待が持て、皆が楽しく住める園沖づくりに頑張っていきたいと思

ついています。



4月「お花見」での吉澤会長

研修旅行に
全力投球:

園沖勢年団团长 加藤 一城

「園沖勢年団」は園沖区民、全ての人のために働く団体であり、公民館の行事などを全面的にバックアップしています。今年度の小山公民館長は、園沖勢年団の初代团长で、区民を楽しい行事へと導いてくれるやる気のある方です。10月に行われる「研修旅行」では、私が添乗員をかつて出ました。

研修旅行は「山梨リニア・工場見学ツアー」を企画し、先日、小山公民館長、吉田総主

事と下見に行つて来ました。今回の旅行は、旅行業者を通さず、私たちが考えた行程です。旅費も抑えて楽しく学べる内容になっています。

工程は、最初に「山梨県立リニア見学センター」でリニアの仕組みを学び、「桔梗屋」で「信玄餅詰め放題」を行い、昼食は、「長寿村権六」にて、「ほうとう御前」と、俺らん家のごつそうを堪能していただきます。

その後、武田神社で、長野とつながりの深い山梨の歴史にふれて、最後に、「サントリー白州蒸留所」で、ウイスキーの歴史や文化を学んでいただく旅を予定していますので、大勢の方のご参加をお待ちしています。



「長寿村権六」のほうとう

雨に彩られた夏祭り

公民館体育部長 市川 翔平

今年の夏は、連日の猛暑に見舞われ当日の気温を心配していました。迎えた8月10日の「園沖夏祭り」は思いがけない涼しげな雨模様となりました。

屋外の会場には、かき氷やフランクフルト、ジュース売り場が並び、色とりどりの水風船(ヨーヨー)釣りは、子ども達の人気を集めました。目玉イベントなるスイカ割りも行われ、見事に割れた甘いスイカを皆で美味しく味わいました。新鮮な果物やお盆花も好評で、途中で追加するも足りず、湯気の立つおでんは早々に完売。

屋内では、輪投げやスマイルボウリング、お絵描きのコーナーなど趣向を凝らした催しが並び、訪れたお子さんも大人も表情を和ませていました。

なかなか止まない雨のため、夜の花火大会は、中止となり惜しまれる声も聞かれました。

が、ビール大会は予定通り開催され、参加された皆さんの絆を深める一日となりました。来年こそは晴天のもと、夜空を彩る花火を楽しめることを願っています。

ご協力いただいた「勢年団育成会・園ネット・絆の会・野菜クラブ」の皆さま、ありがとうございました。



なつまつり
こどもたちからの声

★スイカ割りでスイカにひびがはいて良かった。
聡太くん

★かき氷シロップ甘かったけどおいしかった。
花梨ちゃん

★ヨーヨーたのしかった。
真梨ちゃん

★かき氷おいしかった。
朱璃ちゃん

★屋台の食べ物もおいしくてヨーヨーももらえて良かった。
葵生くん

■本県社会教育施設の設置状況

施 設	全国 順位	本県内訳(施設数)					
		県 立	市 立	町 立	村 立	そ の 他	総 数
公 民 館	1		963	498	324		1,785
図 書 館	6	1	76	21	21	1	120
博 物 館	1	2	32	14	3	21	72
博物館類似施設	2	6	112	56	47	41	262
青少年教育施設	7	2	16	3	4	1	26
女性教育施設	8	1	4			7	12
社会体育施設	3	26	1,076	344	393		1,839
劇場・音楽堂等	13	3	30	5	6	2	46
生涯学習センター	23	1	5	3	2		11

コラム

恵まれている長野県の社会教育施設

県内にある「公民館」は、市立963館、町立498館、村立324館の計1785館。全国で2番目に多いのは埼玉の443館で、本県は群を抜く設置数になっている。

市町村別でも、市・町・村全てで全国最多の設置数。中でも村は、全国の20都府県の村では、公民館を全く設置していないが、本県は村だけで324館設置しており、本県の公民館活動への熱心さが分かる形になっている。



西遊園地の整備活動(勢年団)

【長野県民新聞】
8月5日(火)付けから引用



長野マラソンのボランティア活動(勢年団)

今後の主な行事予定

- ◎10月19日(日)
山梨方面へ研修旅行
- ◎11月3日(祝)
園沖文化祭
- ◎12月21日(日)
しめ縄づくり講習会
- ◎1月11日(日)
どんど焼き



野菜づくり(勢年団)



枝木の選定作業(勢年団)

今年度の公民館役員

- 館 長 小山 智之
- 総主事 吉田 俊光
- 会 計 吉池 正光
- 体育部 市川 翔平
- 企画部・文化部
鍋谷恵里子
- 広報部・教養部
久松奈津子

今後の公民館活動への皆さまのご協力を、宜しくお願いいたします。

編集後記

館報『そのおき』第81号を無事に皆さまにお読みいただくことができ、ほっとしております。

5月に行われた「安茂里スポーツの祭典」、先月の「園沖夏祭り」に続き、今後予定されている「志奈埜市神社大祭」や「研修旅行」、「園沖文化祭」など、行事が盛りだくさんです。館報を通じて皆さんに、地域を身近に感じていただけたら嬉しく思います。

(編集委員 久松)